



いまいは今
vol.173

発行 今井町並み保存会
発行日 平成26年11月1日
電話 0744-22-1128
http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/
e-mail imaicho@tm3.kcn.ne.jp

◇ご意見・ご感想は
今井まちづくりセンターまで

今井の秋・芸術の秋

① はならあと2014開催

期間 平成26年11月15日(土)

～23日(日)

【展示紹介】

「墨絵流しによる現代アート表現」

《作家》今中和義 《会場》旧米谷家

《コンセプト》

命を育む「水と風」をとらえた造形表現。神秘的自然の憧憬から深遠な空間表現は、未来↓現代へ吹く希望の風でありたい。

「フレスコ絵画」

《作家》弓手文乃 《会場》今井まちや館

《コンセプト》

フレスコ画。高松塚古墳壁画も同じ技法です。絵画が生活と密着できるように願いを込めて大和から発信します。

「風の景色」

《作家》平本重次 《会場》稱念寺
《コンセプト》

壮大な自然と共に人々は生活を営みます。風景に想いをさせる事が私の心情絵画の始まりです。

「犬の肖像」

《作家》榎山孝 《会場》サガン井上

《コンセプト》

何層にも重なりあった犬のイメージは、ものを見つめる行為と共通するものがあり、見る、聞くや考えることなど、生きることにも共通するものだと考えます。

「町かどアート」

《作家》松下清司 《会場》中町筋生活広場
《コンセプト》

昨年は今井町の古い実家でアトリエ・ギャラリー機能を備えたアートのスペースを開設、今後は腰を落着け、今井町の町並みを描き、町おこしにも少しでも役立つように努めてゆきたい。

「来町者と一緒に長屋でワークショップ」

《企画》千葉大学都市計画(福川) 研究室

《会場》今西家住宅・長屋

《コンセプト》

今西家長屋で今井町の活動支援や長屋の改修工事などのワークショップを来町者を行います。

「羊プロジェクト」

《参加》山添村めえめえ牧場の羊と

今井の子どもたち

《会場》ドルチエ今井後方のJR桜井線法面
《コンセプト》

JR桜井線の法面での羊除草隊と子供たちの絵画とのコラボレーション

同時開催

着物でジャズ

開催日時 11月22日(土)

開演13時・終演18時

会場 順明寺

参加費 無料

出演 奈良県立医科大学軽音楽部他

② 秋の夜長のコンサート

開催日時 11月28日(金)

18時開場 18時30分開演

会場 旧米谷家

参加費 無料

出演 Fixed Stars

(フィクスト・スターズ)

※問い合わせはまちづくりセンターへ

③ 中井良香ボーカルフロア

オヘレッタ「キッチンパニック」など

開催日時 11月16日(日)

12時30分開場 13時開演

会場 かしはら万葉ホール

参加費 無料

※問い合わせは22-2365(中井)へ



まほろば検定体験学習

10月4日の奈良まほろばソムリエ検定で二級以上の資格をお持ちの方を対象に今年も今井町で研修を行いました。

参加者21名の多くが県外からの参加で、初めて今井町を訪れたとのこと。いつもより熱心な方が多かったです。

今年重要文化財の高木家も会場として使用させていただき、今井わかば会さんの星茶席、筆莊そりさんの筆管彫刻の実演を行い、江戸時代後期の町家づくりの特徴である本二階づくりや書院づくりなどを見学しました。

今井小学校教職員研修

今井小学校の大庭先生から8月に開催した研修についての感想をいただきましたので掲載します。

夏季職員研修の一環として、身近な今井の町について研修をしました。

まず、華臺にて、若林保存会会長に講義をしていただきました。次に工藤さんに説明をしていただきながら今井の町をフィールドワークしました。重要文化財今西家の中も見学できました。重厚な文化財家屋の価値が伝わってきました。雑蔵に、旧米谷家で、竈を使って炊きあげてくださった炊き込みご飯の御膳をいただきました。大和の選りすぐられた食材に更なる工夫が加えられた、心温まる御膳でした。

この町を文化遺産として保存していくことは勿論ですが、そのみにとどまらず、未来に向かって活性化していくための活動をされていることがよく解りました。

語りうる文化が、町全体の姿と同時に人々の心の中に息づいていることを、私たちは教員の立場で子どもたちに伝えていきたいと思っています。

稱念寺保存修理現場説明会開催

9月27日(土)・28日(日)の二日間、稱念寺本堂において保存修理現場の公開、及び説明会が開催されました。

これは昨年の7月に行われた、第1回現場見学会に続いて行われたもので、町内外から500名を超える参加者がありました。

受付でヘルメットを受け取り建物の中へと入って行きますと、中では奈良県教育委員会文化財保存事務所の職員の方々が、設置されたパネルの付近で、修理の状況や解体により判明したことなどを説明されていました。

本堂のほうは、すべて瓦が下されており、屋根から下ろされた瓦は場所別・年代別に並べられていました。



また「天保十四(一八四三)年の墨入れ」のある敷居が展示されるなど、今回の解体保存修理作業による新た

な発見が随所に見られました。

稱念寺は今井町成立の歴史を語る上で欠かすことのできない場所です。修復がすべて完了するまでにはまだしばらくの時間がかかります。これからも公開をされて見学の機会をいただきたいと思います。



いまい往来

11月7日～9日 全国町並みゼミ 鹿島・嬉野大会

○全国町並み保存連盟40周年記念

11月15日～17日 晩秋の有松を楽しむ会 (愛知県名古屋市長松)

11月23日 文化文政風俗絵巻の行列 (長野県南木曾町妻籠)

編集後記

環境省レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類の貴重な植物「カサゴケモドキ」

川上村で初めて生育が確認されました。しかも人が生活しているすぐそばで。それは、人と自然の共生を代々きちんと続けてきたからだと思います。目の前のことだけに拘わらず長い時の流れを見据えて自然体でいく大切さを感じました。